

小学生の4割超課金 オンラインゲーム 県教委調査

3月18日発行の四国新聞第45528号第1面に、県教委が発表した県内小学生対象に令和2年秋に行ったアンケート結果が掲載されていました。それによると日常的にオンラインゲームで遊ぶ県内小学生4～6年生のうち、4割超がゲーム内で「課金」していることがわかったそうです。課金すると答えた児童のうち2割は、課金額が月3000円以上と回答したそうです。驚くべきことは、小・中・高校生の中で、課金している割合が最も高いのが小学生であるということです。（小学生45%、中学生39%、高校生23%）小学生の課金の特徴として、ネット接続型の携帯ゲーム機を使い、プリペイドカードで課金することが多いそうです。また、課金を巡るトラブルも多く発生しているそうです。

本校でも、10月にネットゲームに起因するトラブルについてアンケートを行いました。その結果、大きなトラブルはありませんでしたが、「長時間」「夜更かし」「ネットワークゲーム上での乱暴な言葉遣い」等を心配する声が多くありました。（令和2年10月15日発行ユーカーリ2020 No. 50 参照）

もうすぐ春休みです。子どもたちにとって、自由な時間が増え、また、保護者の方の目が行き届かない時間も増えることが予想されます。今一度、ご家庭でゲーム機や SNS 等のメディア利用について、お話し合いされることをお勧めします。

（上記のデータは、3月18日発行の四国新聞第45528号第1面参照）

参考資料

ネットにつながる家庭用ゲーム機に潜むセキュリティリスクの例

- 不正アクセス
- 通信内容の盗聴
- ウイルス感染

セキュリティ対策

- 接続するネットワークのパスワードを特定しにくいものに変更する。
- 無料で使えるWi-Fiスポットの利用は注意する。
- ゲーム機から怪しいサイトにはアクセスしない。
- ゲーム内の個人情報を管理する。
- ゲーム機のアップデートを行って最新の状態を保つ。

※「ゲーム機のセキュリティリスク」等で検索すれば役に立つ詳しいサイトが見つかります。

桜の花が咲き始めました！

最近、毎日のように各地の桜の開花が報道されています。

松崎小学校のさくらが丘の桜も咲き始めました。4月7日（水）は、満開の桜が新入生に迎えてくれることでしょう。

